

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 令和3年度不破高等学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和4年2月22日(火)
- 3 開催場所 書面開催
- 4 参加者  
会長 竹内 治彦 岐阜協立大学学長  
副会長 和田 満 垂井町教育委員会教育長  
委員 中川 敏之 関ヶ原町教育委員会教育長  
長谷川 妙子 関ヶ原町教育委員  
林田 力 不破中学校校長  
小川 美紀子 宮代こども園園長  
吉田 茂喜 特別養護老人ホームいぶき苑施設長  
中村 美幸 地域住民  
高木 佐知子 地域住民  
高木 淳一 不破高校PTA会長

### オブザーバー

- |        |                    |
|--------|--------------------|
| 富田 栄次  | 垂井町議会議長            |
| 鉄井 宣人  | NPO 法人泉京・垂井        |
| 廣瀬 みどり | 垂井町食生活改善協議会会長      |
| 多和田 恵子 | 垂井町バドミントンスポーツ少年団監督 |

- |     |       |    |
|-----|-------|----|
| 学校側 | 大橋 雅之 | 校長 |
|     | 橘 博   | 教頭 |

### 5 会議の概要(協議事項)

- (1) 今年度の取組状況
- (2) スクール・ポリシーの決定
- (3) 来年度の方針と活動計画
- (4) 意見

#### ○今年度の取組状況について

意見1：基礎学力の定着と生活習慣の確立に向けた方向性は正しい。また、鹿の研究といった地域のためになる活動は評価したい。

意見2：このような評価を継続し、積み上げ歩み続ける底力を感じる。先生方が一丸となって、生徒一人ひとりに寄り添い、学習、進路、生徒指導されていることがよく伝わった。

意見3：常に生徒を大切に、丁寧に指導していることに心から敬意を表するとともに感謝する。

意見4：進路指導については、コロナ禍で難しいということだが、生徒の進路に影響がないよ

うにしてほしい。

意見5：学習指導において、生徒からの満足度が昨年度比+11ポイントの結果は先生方の一人ひとりの能力に応じた指導の結果が如実に表れていると思う。先生方の努力に敬意を表するとともに一層の指導をお願いしたい。

意見6：学習指導をはじめ進路指導・生徒指導において生徒の満足度が上がっていることから、学校・生徒・家庭の連携がうまく図られていることが分かる。生徒の主体的な活動が満足度に繋がっている。

意見7：生徒・学校の様子を見聞きする機会がほとんどなく残念である。

意見8：中学校へのPR活動は大切なことである。普通科としての利点を表現してもよい。例えば、卒業後の進路について指定校推薦という枠があること、小規模校であるがためこれらを利用しやすい。高校生マイプロジェクト中部S u m m i tに2年連続でエントリーするなどの探究学習に力を入れていることもPRになる。

意見9：外部評価で「学校では個々の生徒の相談にいてねいに応じている」の評価が低いことが気になる。

⇒満足度は86%(不満足度3%、わからない11%)は、昨年度の81%より上がっているが、機会をとらえて生徒とコミュニケーションを取ることを心がけていきたい。

意見10：ボランティア活動の参加が多く地域貢献が実践されていて素晴らしい。

意見11：弓道場に恵まれており、その利点を活かした弓道部活動でさらなる活躍を期待する。

意見12：ボランティア活動について、部活動を有効に活用できたことは、生徒の成長と自信につながっている。連携事業のLINEスタンププロジェクトでは、デザインがかわいいいこともありスタンプを活用している。

意見13：学力向上は勿論だが、個性豊かな興味あるものを深く探究できる環境にあることに感動した。

#### ○令和4年度の活動計画について

意見1：現在の方向性で努力してほしい。本校との協定事業も引き続き継続したい。

意見2：伝わりやすい言葉での「スクール・ポリシー」を前面に、ふるさとカラーが一層加わり、楽しく充実した学校生活が展開されることを期待する。

意見3：コロナ禍前のように、園児と生徒が近くで交流できることを願う。

意見4：ふるさとを知る人を講師とするだけでなく、垂井・関ヶ原の魅力を感じ移住した人など、外から見た私たちの街の魅力を伝えてもらうこともよいと思う。

意見5：ふるさと教育の新規事業が興味深い。在学中に垂井・関ヶ原について学ぶことはとても意味のあることである。様々な活動を基盤に主体的な姿が見られることを期待する。

意見6：高大連携事業で、受け身の講習を行うだけでなく自分たちで考えていくことを中心に進め、そこに大学生がメンターとして意見・助言をしてよりよい方向に深めていけないか。

意見7：地域との連携を強めつつ、本校らしい教育活動を生徒一人ひとりに寄り添いながら継続してもらいたい。

#### ○その他学校運営全般について

意見1：第1回吹奏楽部定期演奏会をY o u T u b eで鑑賞した。生徒のたゆみない努力が素晴らしい演奏となって実を結んだ。指導した先生方の深い愛情も十分に伝わった。

意見2：コロナ感染症拡大の中、教職員の対応に感謝する。

意見3：生徒や学校の様子が少しでも分かるようにと多くの資料を作成いただき感謝する。機会があれば活力のある高校生の姿を見たい。

意見4：スクール・ポリシーについて、最も大切な部分を英語で表現することが疑問である。  
⇒県の統一様式を参考にしている。

意見5：授業等でタブレットを使っているが、一部のタブレットが校内のオンライン環境に接続できていないと聞く。この対応として、「自分のスマホを使え」という対応をする教員がいると聞き、この対応は適切ではない。来春より正式に授業の中でスタディサブリを使用すると聞いているが、生徒間の学習環境の格差があることは大変遺憾である。これらについて早急に対応をしてもらいたい。⇒オンライン環境の確認とともにすぐに対応する。

意見6：学校HPの「不破高T o d a y」で、生徒を紹介する際に「くん」と「さん」という敬称が使われているが、「さん」で統一してはどうか。些細なことではあるが、このような使い分けをする意味や必要性について考えていくことが、生徒一人ひとりに寄り添う姿勢につながると感じる。⇒ご指摘のように「さん」に統一する。

意見7：企業見学会が中止になったが、生徒の将来を決める糧となるので実施してもらいたい。

## 6 会議のまとめ

第3回学校運営協議会において、令和4年度のスクール・ポリシーについて、全委員より概ね承認が得られた。当初、今回は対面での開催を計画していたが、今般のコロナ禍を考慮して書面開催としたが、各委員から忌憚のない意見が得られた。これらの意見を参考にしながら、個々の生徒の自己実現を図るために来年度の事業に取り組んでいく。